

原 強 プ 第 1 6 号  
平成 2 9 年 3 月 7 日

島 根 県 知 事 溝 口 善 兵 衛 様

中国電力株式会社  
代表取締役副社長執行役員  
原子力強化プロジェクト長  
小 川 司 徳

島根原子力発電所における保守管理の不備等に関する  
再発防止対策の進捗状況について（報告）

平成 2 9 年 2 月 1 5 日に開催された、第 1 7 回原子力安全文化有識者会議の議事概要について、平成 2 2 年 3 月 3 0 日付け消防第 2 7 3 8 号および平成 2 2 年 1 0 月 1 9 日付け消防第 1 0 5 4 号の申し入れに基づき、添付資料のとおりご報告いたします。

添付資料

第 1 7 回原子力安全文化有識者会議 議事概要

以 上

## 第17回原子力安全文化有識者会議 議事概要

- 開催日時 平成29年2月15日(水) 13時30分～16時15分
- 開催場所 サンラポーむらくも(瑞雲の間)
- 出席者 〔社外委員〕梅林委員, 高尾委員, 高橋委員, 豊田委員(座長), 野津委員, 山浦委員  
※亀城委員は欠席  
〔社内委員〕小川原子力強化プロジェクト長, 迫谷副社長, 岩崎常務

### ○ 議事内容

#### 1. 開会あいさつ(小川幹事)

- ・ただいまから、「第17回原子力安全文化有識者会議」を開催する。
- ・各委員の皆さまにはご多用の中、本会議に出席賜りお礼申し上げます。
- ・一昨年判明した「低レベル放射性廃棄物に係る流量計の不正事案」に対する再発防止策については、有識者会議において委員の皆さまから貴重なご提言を頂きながら、確実に実施するよう取り組んでいるところである。
- ・再発防止対策として公表している16項目のうち、現時点で、唯一未実施となっていた、「設備を統合的に管理するシステムの改良」は、3月末にシステムの改良を完了し、4月から運用を開始できる見込みである。
- ・本日は「低レベル放射性廃棄物に係る流量計の不正事案」と「点検不備問題」に係る再発防止対策の取り組み状況および「原子力安全文化アンケート結果と評価」について報告する。
- ・併せて、今後の原子力部門の人材育成全般の進め方の骨格について、説明させていただく。
- ・また、昨年12月に島根原子力発電所の中央制御室の換気を行うためのダクトで腐食が発見されたことについて、現時点で確認している事実を説明させていただく。

#### 2. 議事

- (1) 「低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題」および「点検不備問題」に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて
- (2) 原子力安全文化アンケート結果と評価について

資料に基づき、電源事業本部部长 古川および原子力強化プロジェクト部長 今浦から「『低レベル放射性廃棄物のモルタル充填に用いる流量計問題』および『点検不備問題』に係る再発防止対策の実施状況・評価ほかについて」および「原子力安全文化アンケート結果と評価について」を説明した。

主な意見は、以下のとおり。

〔再発防止対策の実施状況に対する意見〕

- ・詳しく課題を抽出して問題点をつぶしている。今は再発防止対策について理解して取り組んでいるが、それを次世代へつなげていくことが、再発防止対策の仕上げとして必要ではないか。
- ・「行動基準を全体で一つ設定した方が社としての方向性がわかりやすい」という意見は同感である。汎用性を高め、具体的なものを絞り込んでいくことが必要ではないか。

- ・行動基準については、全体で統一というより、まずグループで話し合っただけ決めた行動基準を指針にして取り組むのが良い。
- ・流量計の問題、点検不備の問題について、様々な管理をしながらよく取り組んでいる。
- ・上司および上司以外のメンバーに対して同じ傾向で、「おかしいと思ったことは言える」というアンケート結果であるが、いざというときには上司が強力なリーダーシップを発揮して、皆をまとめることができるということを前提に、この文化、状態は維持していただきたい。

〔原子力安全文化アンケートの結果と評価に対する意見〕

- ・アンケート結果を再度分析し直して、なぜ「中国電力で働くほこり」をもてないか、もてるようになるにはどうしたらよいか考えて解決していかないと、会社一丸となった運営はできない。
- ・「仕事のやりがい」を知るためには、原子力の中だけでなく、停電がなおって喜ばれたなどの、エンドユーザの声に触れていくということもアナログではあるが大事なことである。
- ・「中国電力で働くほこり」と「上司との十分な配慮」の経年推移をみると相関があるように見えるので、20代の社員の直属の上司との関係性や、評価について分析をすると、「中国電力で働くほこり」の低下を解決する糸口になるのではないかと。

(3) 情報提供：原子力部門人材育成プログラムについて

(4) 情報提供：島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクト腐食について

電源事業本部部長 田中から「原子力部門人材育成プログラムについて」、島根原子力発電所長 北野から「島根原子力発電所2号機中央制御室空調換気系ダクト腐食について」を情報提供し、質疑を行った。

主な意見は、以下のとおり。

〔原子力部門人材育成プログラムに対する意見〕

- ・人材育成センターの設置は賛成である。人材育成プログラムは長い時間をかけて醸成していかなければならないものとする。
- ・同じメニューで同じ教育を行っても、人間は一人ひとり考え方が違うので、どうしても馴染めない人がでてくる。それぞれの個性を活かした育成を行っていただきたい。

〔中央制御室空調換気系ダクト腐食に対する意見〕

- ・腐食が起きたこと自体が問題だったのではないかと。海辺の施設なので、金属部品については品質も含めて徹底的にチェックしてもらいたい。

### 3. 閉会あいさつ（小川幹事）

取り組みの状況については今後も適宜、本有識者会議に報告し、有識者委員から提言を受けたい旨および有識者委員からの提言、議論に対するお礼を述べた。

以上